

建設大臣賞

都市計画道路 元寺小路七北田線(将監トンネル)整備事業

(表彰対象者：仙台市建設局)

表彰の理由

沿道市街地の環境や地形に対応して、道路の構造やデザインにも配慮し、幾多の困難を克服して都市の骨格を形成する幹線街路を完成させた。

事業のあらまし

本路線は、仙台市の骨格道路網である11放射2環状の一路線で南北軸の放射状道路で主要地方道路として位置付けられている。

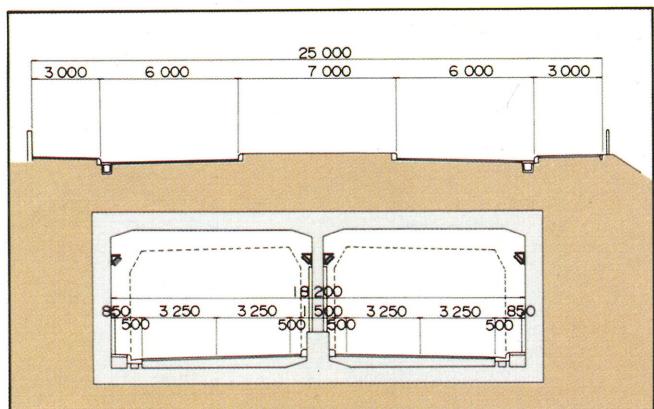
将監トンネルは、本路線の最後の工区に当たり、北部の泉中心市街地から将監団地を経て国道4号仙台バイパスに至り、土地利用及び地盤の高低差、また平成12年交通量等より将監団地内への住環境を考慮し、全国でも稀な半地下トンネルとして通過交通を団地内交通と分離した構造として整備したものである。

- 延長：978.5m
 - 幅員：25～44m
 - 事業費：6,300百万円
 - 事業実施期間：昭和59年4月～平成3年5月

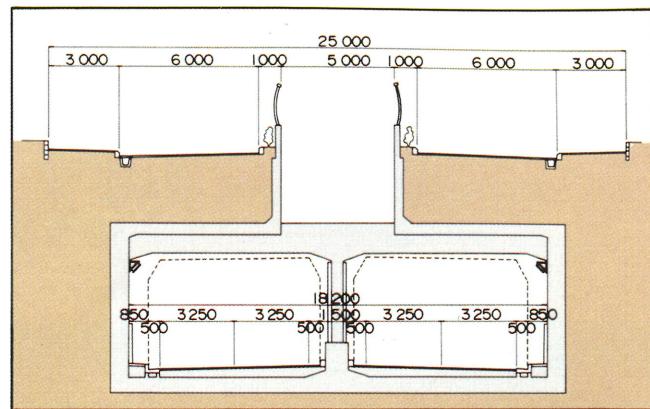
皇市中心街地から将監団地を貫き国道4号仙台バイパスへ結び、北部地区の今後の発展に貢献するものである。



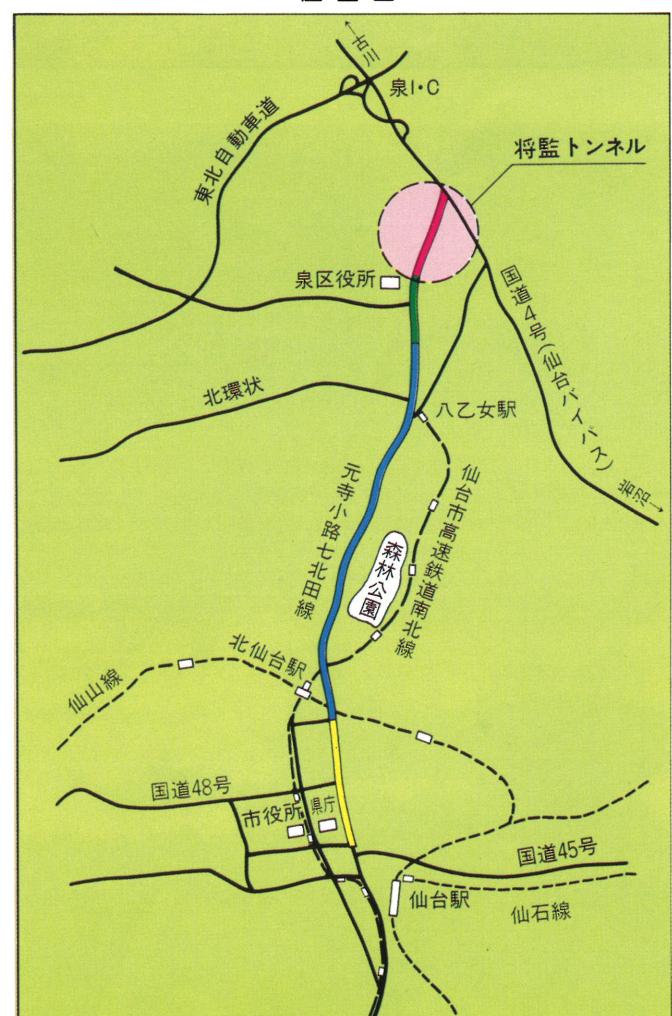
トンネル部横断図



開口部横断図

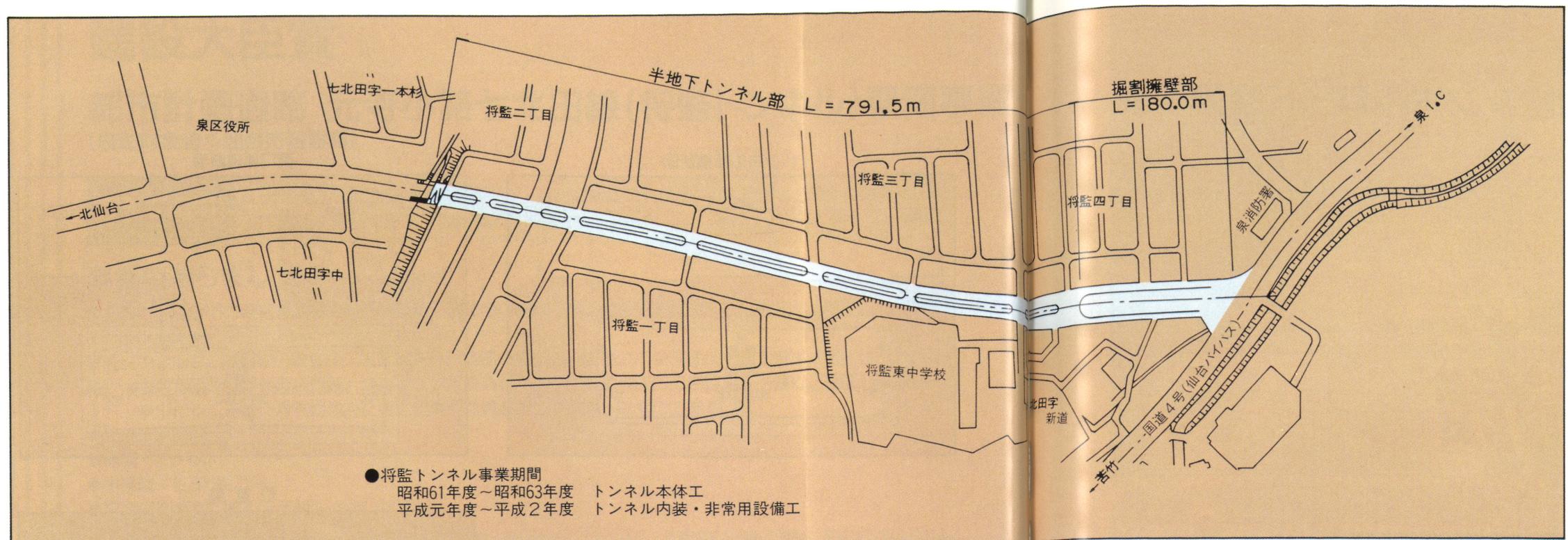


位置図



都市計画道路元寺小路七北田線の整備経過

| | 事業期間 | 供用開始年 | 延長 | 事業主体 |
|---|-----------|-------|---------|------------|
| ■ | S 45～S 54 | S 54 | 2.028km | 仙台市 |
| ■ | S 47～S 60 | 隨時 | 4.780km | 宮城県 |
| ■ | S 56～S 63 | S 61 | 0.856km | 泉中央土地地区画整理 |
| ■ | S 59～H 3 | H 3 | 0.978km | 宮城県・仙台市 |



事業遂行上の工夫

半地下式トンネルの構造に対して、団地住民から騒音・振動・大気汚染等による住環境の悪化が懸念されるとの反対運動に対し、再三の説明会により半地下式構造の優位性について理解を得、また遮音壁等の構造に対し団地内の住環境への配慮と都市デザインとの両立を行っている。

受賞者のコメント

この事業は、今後の仙台市の街路整備が住環境と都市デザインが両立して行われる一つの方向性を示しており、この事業が認められたことは大変嬉しく、更に一層の研鑽を積んでいきたいと考えるものである。



半地下式トンネルで、遮音板を設け騒音対策に寄与している。



都市デザインを考慮した地表部で、団地内交通を分離している。